

文化財庭園保存技術者協議会 会報

2019.09 第28・29合併号

編集・発行：文化財庭園保存技術者協議会（代表：加藤末男）

〒600-8361 京都市下京区大宮通花屋町上ル NPOみどりのまちづくり研究所内

TEL：075-341-2600 FAX：075-361-0961

評議会事務局：〒602-8261 京都市上京区多門町440-6 株式会社環境事業計画研究所内

TEL：075-431-0055 FAX：075-431-0006

平成28年度～平成30年度の活動履歴

平成28年度	1月21日	実地技能研修	奈良県奈良市	特別史跡・特別名勝 平城京左京三条二坊宮跡庭園、松林院跡庭園、史跡 頭塔
	2月24～26日	実技技能研修	大分県中津市	平田家住宅庭園
平成29年度	6月17～24日	次代の文化を創造する新進芸術家育成事業実技技能研修、技術見学会	青森県弘前市	成田家庭園・対馬家庭園・丹藤家庭園・須藤家庭園
	6月25日	第14回文化財庭園フォーラム	青森県弘前市	弘前市民文化交流館ホール
	7月28～30日	総会、教養研修、実地技能研修	京都府宇治市	重要文化財松殿山荘
	8月25～27日	特別教養研修	京都府京都市	（日本庭園・歴史遺産研究センター 庭園学講座24）
	11月11日	実地技能研修	愛知県一宮市	登録有形文化財旧林家住宅、名勝 木曾川、史跡 岐阜城跡
平成30年度	1月19～21日	実技技能研修	兵庫県洲本市	県指定名勝旧益習館庭園
	6月9～16日	次代の文化を創造する新進芸術家育成事業実技技能研修、技術見学会	愛媛県大洲市	臥龍山荘庭園・如法寺庭園
	6月17日	第15回文化財庭園フォーラム	愛媛県大洲市	大洲市役所大ホール
	7月13～14日	総会、教養研修、実地技能研修	東京都江東区	東京都指定名勝 清澄庭園、特別史跡・特別名勝 小石川後樂園、名勝 浅草寺伝法院庭園
	8月24～26日	特別教養研修	京都府京都市	（日本庭園・歴史遺産研究センター 庭園学講座25）
	10月12～14日	実技技能研修	島根県奥出雲町	名勝 櫻井氏庭園、登録記念物 絲原氏庭園、糸原氏庭園
	2月15～17日	実技技能研修	京都府宇治市	重要文化財 松殿山荘

この度は会報の発行が遅くなりましたこと、深くお詫び申し上げます。平成30年度の研修会について報告させていただきます。

平成30年度新進芸術家育成事業ならびに第15回文化財庭園フォーラムの報告

2018年6月9日（土）～17日（日）愛媛県大洲市において文化財庭園保存管理技術の実技技能研修を実施いたしました。文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の受託事業による長期研修は、如法寺庭園（市指定史跡 如法寺）と臥龍山荘庭園（市指定名勝 臥龍及び亀山公園）で行われました。8日間の研修を通して、37名の会員と地元より20名の技術者が参加して、技術の研鑽に取り組みました。研修の締めくくりは、文化財庭園保存管理技術ならびに研修成果をご覧いただくための技術見学会や、第15回文化財庭園フォーラムを開催し、両庭園の魅力や次代につないでいくための課題について共



臥龍山荘庭園の実技研修の様子（臥龍の淵）

有する機会を設けました。見学会は53名、シンポジウムには約150名の県内ならびに市民参加者がお越しくださいました。

6月9日の研修初日には、臥龍山荘庭園にて開会式が行われ、文化庁の青木達司文化財調査官、大洲市教育委員会の井上教育部長にご挨拶をいただきました。開会式後は、大洲市教育委員会岡崎係長より臥龍山荘庭園の概要について解説をいただき、臥龍山荘庭園の植栽管理指導を実施している水本隆信正会員（庭水本）に現地説明をいただきながら、現地を見学しました。そして評議会員とともに庭園内および蓬莱島を周り、修理内容方針等を検討しました。

その後、如法寺庭園へ移動し、如法寺のご住職よりご挨拶をいただき、岡崎係長とご住職のご案内で重要文化財 仏殿をはじめとする建造物と境内、庭園内を周り、座敷からの眺望を確認しながら、修理内容方針等を検討しました。

如法寺庭園は、大洲藩主の菩提寺で、仏殿が重要文化財指定、境内と墓所が大洲市の史跡及び名勝に指定されています。庭園は本堂（方丈）と庫裏の前庭で北側の山畔を利用しながら、その裾に園池が東西に細長くつくられ、2つの中島が石橋と太鼓橋で繋がれている池泉観賞式の庭です。

研修方針に合わせた班分けを行い、各班がそれぞれ地割修復と清掃、水系の調査、高木の修復剪定、低木の修復剪定に分かれて研修を行いました。植栽管理技術の研修については、昭和の古写真と現況の空間性を比較しながら、作庭意図を読み解き、植栽整備を行いました。成長して繁茂した低木の切り戻し、山畔を覆う高木の剪定や枝おろし等を実施しました。

1日のみで雨天の中の研修でしたが、不要木の除伐や透かし剪定によって、谷筋や空間の奥行をもたせることができました。水系の確認調査は水路が見つからず、判然としないため、枯滝石組は現状維持としました。

地割管理技術の研修においては、飛石や護岸、岩盤も現れて、地割を明確にすることができました。護岸石組は獣害の影響等で傾倒も見受けられましたが、今後の課題となりました。



如法寺庭園 実技研修の様子（植栽剪定）



如法寺庭園 実技研修の様子（植栽剪定）



臥龍山荘庭園 実技研修の様子（袖垣の補修）



臥龍山荘庭園 実技研修の様子（確認調査）

平成 30 年度総会ならびに研修会の報告

2018 年 7 月 13 日（金）東京都江東区の東京都指定名勝清澄庭園において、平成 30 年度総会ならびに研修会を開催しました。

今年度の総会は、清澄庭園の大正記念館で開催され、加藤代表の挨拶からはじまりました。続いて、東京都公園緑地部の細川卓巳公園計画担当部長、文化庁の平澤毅主任文化財調査官にご挨拶をいただきました。総会は、平成 29 年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、続いて平成 30 年度の事業計画ならびに予算が報告されました。



実地技能研修の様子（東京都指定名勝清澄庭園）

総会に続いて教養研修が行われ、基調講演として文化庁の平澤主任文化財調査官に「文化財行政の動向と文化財庭園保存技術」と題して、ご講演いただきました。その後、東京農工大学名誉教授の亀山章氏（文化財指定庭園保護協議会会長）に「清澄庭園の変遷と価値」と題して、ご講演いただきました。

続いて、実地技能研修で、清澄庭園の維持管理を行っている東京都公園協会より「清澄庭園における維持管理について」と題して、取り組み報告がなされました。その後、3 班に分かれて、東京都公園協会清澄庭園 技能主任北村均氏、東京都公園協会庭園維持係 土屋武詞係長、同会庭園維持係 北村葉子主事のご案内で見学を実施しました。夜は同じく大正記念館にて情報交換会が開催されました。

翌日の 7 月 14 日（土）は午前中に特別史跡・特別名勝小石川後樂園で、3 班に分かれて現地見学を実施し、白糸の滝の修理については龍居竹之介評議会員、唐門の復原整備については東京農工大学名誉教授の亀山章氏、東京都の文化財庭園修理の取組については東京都東部公園緑地事務所の兵頭統括課長代理よりご解説いただきました。

午後は浅草へ移動して、名勝浅草寺伝法院庭園にて実地技能研修が行われました。

伝法院の大書院にて、浅草寺の建築については浅草寺強化部藤元学芸員、庭園の整備については東京農工大学名誉教授の亀山章氏、庭園の管理については鈴木隆治準会員補（㈲蓮や鈴木造園）よりご解説いただきました。

その後、庭園で、㈲蓮や鈴木造園の鈴木隆治準会員補と君島幸治研修会員に写真を見せていただきながら、見学をしました。

今回は一般公開ではない時期に、会場をご提供いただきまして、厚く御礼申し上げます。



実地技能研修の様子（特史・特名小石川後樂園）



実地技能研修の様子（名勝浅草寺伝法院庭園）

11 日～16 日までは臥龍山荘庭園での実技研修を行いました。臥龍山荘は、古くからの景勝地に木蠟の輸出で財をなした河内寅次郎が明治時代に建てた別荘で、数寄屋建築や懸造りの茶室などの建造物が重要文化財に指定され、庭園と蓬莱山は大洲市の名勝に指定されています。

庭園は臥龍の淵にのぞむ南北に細長い敷地で、懸け造りの不老庵からは肱川や対岸の山々を眺望することのできる、自然を取り込んだ空間となっています。

研修では、自然と一体となった空間性を取り戻すために、臥龍院（主屋）からの眺望と不老庵からの眺望、蓬莱山からの眺望を主体として、研修方針を定めました。この方針に基づき、各班がそれぞれ臥龍の淵の清掃、山や川への眺望を意識した高木の修復剪定、不老庵まわりの高木の修復剪定、園内の広がりをつくるための高木の切下げを実施しました。

植栽管理技術の研修については、各班で空間をつくる方針をメンバーと検討しながら行い、指導者や作業者が見え方を確認しながら剪定を進めました。対岸から眺望を阻害している樹木を確認し、不要木の除伐、切下げ、枝抜きを行いました。

地割管理技術の研修については、臥龍の淵の岩盤や石垣に草本類やツタが繁茂していたので、草刈りと清掃を実施しました。庭園の地形や骨格が明確になり、庭園の立地特性が引き立つようになりました。さらに堆積土の除去により、岩盤を加工した舟着場が確認でき、その上方には石段も検出されました。また、臥龍の淵の石垣においても積み方が異なる部分が発見され、今後の調査で庭園の変遷が明らかになることを期待します。

8 日間にわたる研修の成果として、16 日は実際に研修を行う様子を見ていただく技術見学会を開催しました。

加藤代表、文化庁の平澤毅主任文化財調査官、井上教育部長にご挨拶いただき、2 班に分かれて、庭園の見学と蓬莱山から臥龍の淵と庭園の眺望をご覧ください見学を行いました。

広縁より庭園を眺めながら、正会員より研修内容についてご解説いただきました。17 日は、大洲市



技術見学会の様子（低木の植栽剪定）

役所大ホールにて第 15 回文化財庭園フォーラムを開催し、平澤主任文化財調査官と水本隆信正会員にご講演いただきました。その後、四国の庭園に携わる技能会員（加藤末男正会員（植彌加藤造園㈱）、奥山聖治準会員補（橘造園㈱）、西岡浩一研修会員（㈲大洲造園））にご参加いただき、「庭園に込められた思いを次代につなぐ」をテーマにパネルディスカッションを行い、最後にコーディネーターである東京農工大学名誉教授の亀山章氏（文化財指定庭園保護協議会会長）に内容をまとめていただきました。

今回の研修では、開催地の大洲市教育委員会をはじめ、愛媛県教育委員会、指定管理団体の大洲歴文会等たくさんの方にお世話になり、無事に全日程を終えることができました。この場をお借りし厚くお礼を申し上げます。なお、本研修地は平成 30 年 7 月の西日本豪雨で甚大な被害がありました。河岸の石垣や手摺、蓬莱山の柵にも被害を受けましたが、復興に向け修理が進んでおります。被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

実技技能研修会(奥出雲町)の報告

2018 年 10 月 12 日（金）～14 日（日）に島根県奥出雲町において、実技技能研修会を開催致しました。

初日は名勝 櫻井氏庭園を会場に、文化庁の平澤毅主任文化財調査官にご挨拶から始まりました。続いて、島根県教育庁池淵俊一調整官、奥出雲町奥原徹副町長、所有者である櫻井氏にご挨拶をいただきました。開会に続いて、実地教養研修を行い、奥出雲町教育委員会宍戸氏より、たたら製鉄の歴史と名勝 櫻井氏庭園の概要を講演いただきました。続いて、矢ヶ崎善太郎評議員より重要文化財櫻井家住宅についてご解説いただきました。その後、櫻井氏と宍戸氏のご案内で建築と庭園を見学しました。

翌日の 10 月 13 日（土）は糸原氏庭園を会場に実技技能研修会を開催しました。護岸周りの清掃班、カシ等の修復剪定や竹林の間伐班、門脇の中高木の修復剪定や石燈籠の据え直しと手水鉢の清掃班、滝石組まわりの剪定及び清掃班の 4 班に分かれて研修を実施しました。

研修後に各班より研修内容と成果を発表していただき、限られた時間でしたが、座敷から滝石組が見えるようになったことと、竹林に光が入り、背景が見えて奥行きが生まれました。

最終日の 10 月 14 日（日）は登録記念物 糸原氏庭園を会場に石燈籠の修復班と高木剪定班に分かれて、研修を実施しました。斜面中腹にある燈籠は 2017 年の豪雪により、笠が落下し、火袋が割れていました。落下した笠は養生して荷台で運び、火袋の石片は組みなおして記録したのち、養生保管しました。本研修では火袋を除いた形で、中台の上に笠及び宝珠を戻し、修復を行いました。

剪定班は、ネズサシ、アカシデを除伐し、五重石塔にかかる支障枝を剪定しました。その後、桃井賢二準会員補（有桃井造園）・森和生研修会員（有森造園土木）・君島幸治研修会員（有蓮や鈴木造園）より、枝おろし剪定やツリークライミングに使う新しい道具について全体レクチャーが行われました。

午後は、糸原家住宅および記念館でたたら製鉄の歴史と地域文化を学んだ後、名勝 鬼の舌震を見学しました。最後に青木達司調査官と田中哲雄評議員にご挨拶いただき、閉会となりました。今回は研修会場の 3 庭園に加えて、奥出雲町指定名勝旧ト蔵氏庭園や棚田の重要文化的景観も見学させていただき、出雲地方の地域性を学ぶことができました。



実地技能研修の様子（名勝 櫻井氏庭園）



実技技能研修完了後の集合写真（糸原氏庭園）



実技技能研修の様子（登録記念物 糸原氏庭園）

庭園学講座 25 開催される

京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センターが主催する庭園学講座 25「都の明治維新と生業の庭」が、2018 年 8 月 24 日（金）～8 月 26 日（日）の 3 日間で開催されました。本協議会ではこれを特別教養研修として位置付け、ご案内させていただきましたところ、多くの会員にご参加いただきました。初日は京都造形芸術大学瓜生山キャンパスにて、講義「都の明治維新と生業の庭」（仲隆裕京都造形芸術大学教授）、「二条城の近世から近代へー建築史にみる利用の変遷」（小沢朝江東海大学教授）、「宮廷・公家の庭ー近世から近代へ」（町田香京都造形芸術大学大学院非常勤講師）を拝聴しました。午後には、フィールドワークとして、元離宮二条城の現地学習を行いました。

2 日目は宇治と伏見にて「生業と庭」をテーマに研修を行いました。講義では「宇治の茶商」（杉本宏京都造形芸術大学非常勤講師）を拝聴した後、茶商の庭園を見学し、午後には伏見に移動し、京都造形芸術大学伊達仁美教授の解説で月桂冠大倉記念館を見学しました。

3 日目は、京都造形芸術大学瓜生山キャンパスにて、講義「近代庭園の誕生」（栗野隆東京農業大学准教授）、「明治時代の京都の宗教事情」（坪井剛京都造形芸術大学准教授）、「近代庭園の施主ー近江、京都、大阪」（尼崎博正京都造形芸術大学教授）を拝聴しました。午後は尼崎博正教授の解説で駒井家住宅を見学し、その後、ノートルダム女学院中学校高等学校一和中庵へ移動し、矢ヶ崎善太郎教授、仲隆裕教授の解説で見学しました。最後に尼崎博正教授と仲隆裕教授より、修了証書の授与とご挨拶をいただき、3 日間の講座は終了しました。

文化庁主催シンポジウム『選定保存技術公開事業 文化庁日本の技体験フェア 2018

～ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技～』開催される

2018 年 10 月 27 日（土）28 日（日）、静岡県熱海市の南熱海マリンホールにおいて、文化庁主催シンポジウム『選定保存技術公開事業 文化庁日本の技体験フェア 2018～ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技～』が開催されました。当日は選定保存技術保存団体が一同に会し、各団体の後継者育成の取り組みや、保存伝承活動についての報告がありました。本協議会も設立趣旨や研修の様子等を紹介したパネル展示、報告書閲覧、醍醐寺三宝院庭園の保存修理の様子をビデオで放映しました。

体験フェアでは、2013 年から実施し、例年好評をいただいている、手箒の手づくり体験を行いました。加藤末男代表・山中功副代表・田中宏夫副代表・井内光彦副代表・水本隆信元代表・徳村盛市前代表・松中徹準会員（有松中造園）のもとに体験者がそれぞれ弟子入りし、手箒を作っていただきました。

体験者の方々には、順番を待っていただく間に手箒による庭園の手入れなどレクチャーを行い、指導者の全国での活動を説明しました。体験者は、手箒作りに夢中になって、最後の仕上げをされる指導者の手付きを観察されていました。今年度も大盛況で、初日が 107 本、2 日目が 103 本、合計約 210 本の手箒が作られました。親子参加も多く、小さい子供から年配の方まで、たくさんの方に体験していただきました。



手箒づくり体験の様子

実技技能研修会(宇治市 松殿山荘)の報告

2019 年 2 月 15 日（金）～17 日（日）に京都府宇治市において実技技能研修を開催いたしました。松殿山荘の（公財）松殿山荘茶道会にご協力をいただき、平成 29 年度の研修会に続く、2 度目の研修となりました。

初日は（公財）松殿山荘茶道会代表理事 平岡己津夫様に御挨拶並びに御講演をいただきました。その後、建築を平岡様に、庭園を宇治市の山口博さんにご説明いただき、見学しました。見学後は実技技能研修の実施に向けて、班に分かれての修理方針検討会を行いました。今回



松殿山荘 実技技能研修の様子

は、大書院からの眺望を中心に、聖賢堂、蓬莱山、園池周りの植栽管理および地割管理と撫松庵の露地と周辺環境の植栽管理および地割管理技術の研修を行いました。

聖賢堂は古写真に基づき、修復剪定を実施し、低木に隠れていた井筒からの流れを現しました。

研修会最後には各班より作業内容や方針等の発表が行われ、実際に水を流し、流れを評議会員と参加会員で検証しました。

平成 28 年度～平成 30 年度のお知らせ

2018 年 2 月に実技技能研修をさせていただきました兵庫県洲本市の「旧益習館庭園」が国の名勝に指定されました。（平成 31 年 2 月 26 日付）

平成 28 年度から平成 30 年度にかけて、下記の方々が表彰及び受賞されましたので、ご報告させていただきます。

<文化庁長官表彰>

平成 28 年度 徳村盛市前代表、平成 29 年度 山中 功副代表、平成 30 年度 水本隆信元代表
<黄綬褒章>

平成 30 年度 徳村盛市前代表

<文化庁創立五十周年記念表彰>（文化の振興に対する功績をたたえる文化庁長官の表彰）

平成 30 年 9 月 30 日 尼崎博正評議会員

令和元年度総会 役員改選のお知らせ

2019 年 7 月 20 日に京都アスニーで開催されました令和元年度総会で議事承認を得られまして、令和元年・令和 2 年度（2019-2020）の役員の新体制をお知らせいたします。

名誉代表-玉根徳四郎（平安林泉）

代表-加藤末男（植彌加藤造園㈱）

副代表-田中宏夫（庭やなぎや）、井内光彦（井内庭園）、松中徹（㈱松中造園）

評議会員-龍居竹之介（㈱龍居庭園研究所所長）、田中哲雄（元東北芸術工科大学教授）、

尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、丸山宏（名城大学教授）、矢ヶ崎善太郎

（大阪電気通信大学教授）、鈴木久男（京都産業大学客員教授）

顧問-安原啓示（元文化庁記念物課主任調査官）、中村一（京都大学名誉教授）

*下線の方が新任、変更になっております。監事、事務局については変更ありません。

新規加入会員と資格昇格会員の紹介

令和元年（2019）7 月末日で技能会員は 196 名、支援会員・賛助会員は 23 団体、6 名となりました。ここに新規に入会された方をご紹介します。

〔平成 28 年度～平成 29 年度入会者〕

会員区分	氏 名	所 属
準会員	三浦利吏	(有)三浦造園
	佐々木昭雄	(有)佐々木造園
準会員補	早野佳文	(株)三重造園
	吉寄宗宏	吉寄造園(有)
	尾寄 塁	平原造園
研修会員	西岡浩一	(有)大洲造園
	佐藤 聡	庭や 木もれび
	見津 誠	野瀬造園(株)
	吉川大輔	植彌加藤造園(株)
	清水一樹	(株)清水造園
	吉田芙美代	植彌加藤造園(株)
	太田末菜子	植彌加藤造園(株)
	太田陽介	植彌加藤造園(株)
	奥田由貴乃	花豊造園(株)
	野田一郎	(株)野田造園
	河野益範	寺岡幹作園
賛助会員	北川則子	京都造形芸術大学
	池田智美	鳥取県教育委員会

1 年遅れましたが、平成 30 年度に会員資格の更新が評議会で審議され、準会員補から準会員へ 4 名、研修会員から準会員補へ 10 名が昇格されました。

また、令和元年度総会の評議会審議の結果、準会員から正会員へ 1 名昇格されました。

〔平成 30 年度～平成 31 年度入会者〕

会員区分	氏 名	所 属
準会員補	杉原信彦	植彌加藤造園(株)
	土岐祐一	土岐造園(株)
	米谷進吾	米谷造園
	柴山貞則	秋田造園土木(株)
研修会員	藤田隆司	(有)旭林造園土木
	内山真美	大島造園土木(株)
	寺田武司	てら SUN
	池内康祐	池内ランドスケープ (有)
	池田崇信	東香園(株)
	川部 純	えんぞう
	三原洋治	雲の庭
賛助団体	—	島津興業(株)

〔準会員→正会員〕

松中徹

〔準会員補→準会員〕

小島聡司、森寺善昭、山口満、横山至

〔研修会員→準会員補〕

五十川歩、泉田幸仁、井上靖智、大釜慎史、

小島弘嗣、田中秀幸、林康之、平井幸輝、

古田収、森口朝行（敬称・所属略）

今年度の研修予定

2019 年 10 月 25 日（金）～27 日（日）石川県小松市法師旅館庭園（石川県小松市栗津町ワ 46）において、3 日間の実技技能研修を開催致します。

法師旅館の小堀遠州ゆかりの庭園での研修となります。ご多忙とは存じますが是非ご参加ください。

さらに、2020 年 2 月 14（金）～16 日（日）にも第 2 回実技技能研修を予定しております。

詳細が決定次第、ご案内させていただきます。



法師旅館庭園位置図